

件名	令和5年度 第3回 福井市障がい者自立支援協議会 地域移行・地域定着部会 報告書	作成日	令和5年11月15日
		作成者	
日時	令和5年11月8日(水) 14:00 ~ 15:00	会場	福井メディックス2階
出席者			
欠席者	ハートワーク つぐみ福社会 みどりの森訪看		
協議事項	協議事項 (1) ピアサポートWGの進捗報告等について 資料1 (2) 研修開催WG進捗報告等について 資料2 (3) 地域の理解促進WGの進捗報告及び説明会の開催等について 資料3 (4) アンケート作成・実施・回収分析WGの進捗報告及びアンケート案内等について 資料4		
会長報告	・10月に愛知県に行った時に相談専門委員からの情報。地域移行に関する事で、自治体によっては年間3件、施設や病院から半年以上地域生活が出来ると、年間400万円程の支給があると聞いた。共生社会を目指し、福井市もそうなるといいと思った。 ・居宅支援部会長の吉村氏と一緒に、11月6日に民生児童委員協議会の会長会に行き、研修などの説明に行ってきた。(昨年度も行った) ・居宅支援部会の委員が、民生児童委員会で障がいの話をした時の話として「難しくてわからなかったみたいだった」とのこと。かなりかみ砕いた、地域の方のレベルに合ったものではないといけない。「よくわからなかった」は絶対に避けたい。「なにかできることはないかな」となってほしい。		
進捗報告	(1) ピアサポートWGの進捗報告等について ・ピアサポートでは、依頼での謝礼の課題(3千円が妥当かどうか)合理的配慮についてや個人情報等の管理等は、はっきりとした形になっていないこともある。次回の部会までにはしっかり形を作っていく予定。 ・ピアサポートが1名確保出来そうなことはある。 Q:どのような方なのか? A:入退院を繰り返しているが一般就労している精神障がい者の方。ピアサポート研修も受講されて人前で話した経験がある方。		
進捗報告	(2) 研修開催WG進捗報告等について ・研修会開催の「地域移行に向けた研修のご提案」ビラを作成した。 資料別紙 ・民児協・成和地区研修会開催決定→令和5年11月14日(火曜日)13:30~14:30 地区相談ほくと柄谷氏からの依頼。研修内容の資料を作成したので、意見を聞かせて欲しい。 ・WGメンバー3人で進めてもらい、事務局や部会員の有志は見学兼応援での参加をお願いしたい。		
進捗報告	(3)(4)の後に (4) アンケート作成・実施・回収分析WGの進捗報告及びアンケート案内等について		

<p>会長より</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研修先の開拓として、精神科病院に依頼をした。(福仁会病院・松原病院・県立病院) ・<u>県立病院と 10/24 に打ち合わせをした。看護師等の職員向け研修の開催可能。(17:30 以降の開催依頼)</u>今年度中に開催を予定する。連絡窓口は地域医療連携推進室の辻田氏。研修 WG 吉田氏とやり取りをする旨を伝えてあるので日程調整をお願いしたい。 ・松原病院と福慈会病院は担当者で打ち合わせを今後進めていきたい。 ・アンケート作成については、民生委員と施設職員対象の二つのアンケートを作成。 ・記述式より選択肢を示して、○をつけてもらう方が時間的にもスムーズかと思う。 ・県立病院は家族に向けての説明会や、家族会にピアサポーターのような当事者が出てもらえると良いのでは。家族会にはピアサポート研修に参加してもらうのもいいのかもしれない。家族に向けて当事者が派遣できると良いのでは。
<p>進捗報告</p>	<p>(3) 地域の理解促進 WG の進捗報告及び説明会の開催等について</p> <p>※民児協・成和地区研修会開催時のパワーポイント資料について協議 当日資料配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年作った資料があったが、かみ砕いてという所が必要かと思った。民生委員の方と話をして高齢者についてや介護保険については知識や理解は進んでいると感じる。長年民生委員の経験があっても障がい者関係の経験は少なく、分からないという声もあった。 ・内容としては、「障害(者)とは」「障がいがあるということと生活」「障がい者への偏見」「手を差し伸べなくてはいけなのは、障がい者だけではない」「地域の異常に気付くために」「困ったときの相談場所」だが、追加した方がいい所や省いた方がいい所などの意見をお願いしたい。 ・民生委員・児相委員の役割の部分は入れなくてもいいと思う。細かいところまではいらないと話し合っている。漫画を利用して分かりやすくしている。 ・地区相談や基幹相談支援センター・地域包括支援センター等や公的機関の相談窓口の紹介。 ・地域での暮らしを希望しているが、出来ていない等、3項目の調査結果等を紹介。 ・最後はお伝えしたい事として「困ったことがあったら、気軽に相談してください」「不安や戸惑いを感じながらも頑張っている」「支援が必要な方を地域で支える方法を一緒に考えましょう」とした。 ・30分ほど話をして残りは質問時間とし、早く終わってもいいと考えている。 <p>アドバイスや意見をお願いしたい。</p>
<p>意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害の方とどう接したらいいのかと言う部分、どう声をかけたらいいのかという事があったもいいのでは。 ・見やすい、分かりやすいが、地域移行等の事例なども入れてはどうか。 ・かみ砕いて分かりやすいが、問題行動の協調だけではなく普通に暮らして、どういうところで見守っていくかも大事なのではないか。
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接し方や声の掛け方等の具体的な例はもあればいいのでは。 ・安心できることも伝わるもいいのでは。普通に接していけることも説明したらいいのでは。 ・イラスト等で分かりやすい。地域でどういう事のトラブルがあるかという分かりやすいのでは。

- ・こちらが地域で頑張ってみようとしても、障がい者の中ではないと感じる人もいるのでは。そこで生活出来ているのなら、それでいいのではと思う所もある。
- ・研修内容は良くできている。基幹では、今年度も福井市の民児協の総会開始の前に、基幹・地区相談・虐待防止センターの説明をしているが、どれだけ浸透しているかは分からないが広報活動はしている。
- ・分かりやすく、絵なども活用していいと思う。質問時に困っているケースとかの質問が出たら、話が出来るといい。対応に迷って困ったら、相談できる所があるのを知ってもらえるといい。
- ・本当に相談が必要な人が大事かと思う。「心配なところもあるので、相談しながら皆でどうやっていこうかと考えるのがいいよ」と、安心してもらいたい。決してそのままにしておくのがいいとも思っていない。
- ・相談先などの資料は配布するのか。連絡先が手元に残るといいのではないかな。→配布の予定
- ・普通に生活できる所があって、安心して下さいという所が伝わるといいのでは。アドバイスがあれば伝えて、普通に接することが出来ればいいなと思う。
- ・資料の「見ていて違和感がある生活状態」例えば・・・
なぜこうなっているかの原因、結果こうなったというのがあってもいいのでは。
- ・福井県には施設では1200人、病院では1200床あるらしい。その人たちが地域に向かって出てきた時に、地域の人たちが手を貸してくれる存在になって欲しい。何かしてあげなくてはいけない、上から助けてあげる支援から、本人のニーズからどこに住みたいかを応援するのが支援のあり方。障がい者雇用促進法が改正されるが、主旨は「健常者と障がいの特性に合わせて働ける環境を作っていきましょう」という内容。共生社会を一般の人にも伝わるといいなと思う。

アンケート（無記名）についての意見がないか。

意見等

- ・民生委員の方に地域移行は賛成ですか？反対ですか？を聞いて欲しい。
- ・アンケートの主旨が異なるので、アンケートは別の方がいいのでは。
- ・アンケートに「どこが難しくてわからなかったか、どこをもっと聞きたいか」を入れてもらえると良い。
- ・地域にいるのと近所にいるのではニーズが異なるのでは。
- ・民生委員の方は高齢者や子どもとの関りは多いが、障がい者にはあまりないかと思う。
- ・障がいは隠したい人もいる。
- ・民生委員の方で事例を持っているかないかを聞いて欲しい。どの程度持っているかの数値が分かっていない。詳細ではなくニーズが把握できればいい。実際の案件の数が知りたい。今回の研修会で数字を把握することで次に繋がるのでは。新しく民生委員になった方が不安に思っている所のレベルでもいい。
→「活動の中で障がいのある人と関わる機会がありますか？」の中に「現在関わっている人がいる」等の設問を入れる。
- ・共生社会と言っても民生委員の方には分からないかもしれないが、あえて共生社会が実現していますかと聞いて欲しい→自立支援協議会の全体会の中でやればいいとも思う。

